

オーストラリアのスタートアップ関連政策について

一般財団法人自治体国際化協会シドニー事務所 研修生 國崎 麗子

1. 連邦政府の取組み

資源大国のイメージが強いオーストラリアであるが、近年は、資源依存型の経済からの脱却を目指して、イノベーションを推進してきた。

連邦政府は、2015年に「全国イノベーション・科学アジェンダ」を発表し、研究開発費の税制優遇措置（R&DTI）や輸出市場開発のための助成金（EMDF）、エンジェル投資家への税制優遇、スタートアップビザの発行など、スタートアップの創出や成長を支援する包括的な取組みを行っている。

2. ニュー・サウス・ウェールズ（NSW）州政府の取組み

NSW州は、国内のスタートアップの約半数が拠点を置く¹スタートアップの中心地である。NSW州政府は、独自の助成金のほか、スタートアップと様々な人々が出会う環境を整備することで、スタートアップの協働や成長を支援してきた。

2018年、州政府は、シドニーのビジネス中心地区（CBD）に南半球で最も密度の高いイノベーションハブ「シドニー・スタートアップ・ハブ（SSH）」を開設した。11フロア、1万7,000㎡のスペースには、最大1,800人、500社のスタートアップが入居することができる。入居者以外も利用できるコミュニティワークスペースやシドニー以外の地域で活動するスタートアップが無料でデスクや会議室を利用できるサービスも提供する。SSHには、州政府が選定した企業3社²が中核テナントとして入居している。各社は、ネットワーキングイベントやメンタリング、ピッチイベント、投資家とのマッチング、弁護士など専門家によるサポート等、スタートアップの段階に応じた様々なサービスを提供し、入居スタートアップのインキュベーターやメンターとしても機能している。大手通信会社や銀行、Microsoftなど大企業もSSHに入居しており、SSH内でのスタートアップと企業との協働も生まれている。

また、州政府は、シドニーのスタートアップRamen Lifeと提携し、州内の約2,000のスタートアップのほか、インキュベーターやアクセラレーター、VCや



【写真】SSH 外観
(筆者撮影)

¹ Startup Muster 「Startup Muster 2023」(2023年10月)

² Fishburners、Stone & Chalk Group、Tank Stream Labsの3社。

投資家の情報を掲載するオンラインコミュニティプラットフォーム³を構築し、オンライン上の関係者のネットワーキングの機会を提供している。

その他、州政府は、シドニーのセントラル駅から数キロ圏内のエリアを「テック・セントラル」と名付け、4,830万豪ドル（約51億円）を出資し、企業の誘致を行っている。同地区には、大手テクノロジー企業 Atlassian が本社を構える予定のほか、シドニー発のユニコーン企業 Canva など世界トップクラスのグローバル企業やスタートアップ、大学や研究機関などが密集しており、オーストラリアのイノベーションの中心地として、さらなる成長が期待される。

3. オーストラリアにおけるスタートアップ支援の課題

一方、州政府は2024年2月に発表した動向調査⁴の中で、スタートアップ支援の課題の一つとして、スタートアップの海外展開に対する支援を挙げている。スタートアップの86%が「今後2年以内に海外に進出したい」と考えているが、現時点で、海外の顧客を持つスタートアップの割合（14%）は低いという。また、進出先は、馴染みのある言語やビジネス文化のある米国、英国、ニュージーランドが中心である。この課題への対応として、連邦政府や州政府が提供する既存の海外進出支援プログラムに、スタートアップがアクセスすることができるよう、州政府がスタートアップ支援組織に働きかけるべきだとしている。

4. 本県の取組みについて

本県は、九州の経済や交通の中心地である。また、NSW州と同様に、九州大学や九州工業大学などの優秀な大学や研究機関を有し、人材が集まっている。

こうした環境で、本県もスタートアップ創出拠点の構築のため、国内外の投資家やスタートアップ企業の誘致に取り組んできた。2025年春には、世界的なスタートアップ支援機関であるCIC⁵がアジアで2か所目となる拠点施設「CIC Fukuoka（仮称）」を本県に開設する予定であり、本県におけるグローバルなスタートアップ創出の機運が高まっている。CICは、イノベーションを創出するコミュニティの形成、スタートアップの成長を後押しする支援プログラム、グローバルなネットワークを活用した資金調達に強みを有している。本県も、CIC Fukuoka内に「グローバル・コネクト・福岡（仮称）」を来年度開設するなど、グローバルなスタートアップエコシステムの創出に取り組む予定である。本県におけるスタートアップ創出の機運が高まるこの機会を捉え、オーストラリアのスタートアップ関連施策の動向を注視しつつ、本県や本県企業との連携の機会を探っていききたい。

※ 為替レート 1豪ドル=105円

³ The NSW Startup Community Platform (<https://community.sydneystartaphub.com/>)

⁴ NSW「Accelerating NSW: Insights from startups and startup support organisations」（2024年2月）

⁵ ケンブリッジ・イノベーション・センター。米国ケンブリッジに本社を置くスタートアップ支援機関。